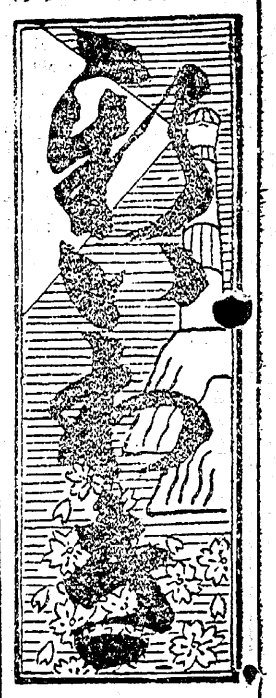
昭和五年三月廿一日 第三種郵便物認可
昭和十年三月十九日 〔日刊〕 新いわき 〔火曜日〕 第一十四百二十三號 (一)
三月十八日 夕刊



日刊 但日曜祭日發行ス
一ヶ月二十五錢
郵稅十五錢一部二錢
廣告料 一行四十錢 場所指定 弐拾錢
發行人兼編輯印刷人 牛谷政喜
發行所 福島縣平町大町二三 新いわき新聞社

愈々實現の平小線

四月早々測量開始

年度内に敷地買收着手

工事豫定割を繰り上げて

郡民多年待望の平小鐵道も愈々今十年度から四ヶ年繼續を以て着工と決定然も過般の鐵道會議に於て當初豫定の工事豫定を繰り上げ總工費百十四萬三千圓の内今十年度支出の測量並に豫定線決定費三万圓を十萬圓とし以下十一年度十二年度各四十萬圓十三年度二十四萬三千圓に改訂された事は既報の如くであるが此の改訂によつて新年度四月早々一鹿島村を通過する平小直通線二湯本玉川を經る線、三飯野高久、豊間、江名を通過する片濱線の三豫定線を詳細比較考證の上決定直ちに決定線の測量に着手遲くも九月までには測量を終り敷地の買收に乘り出す事に決定、來年度早々本格的鐵道工事に着手する筈である

平町會

二十七、八日頃

平町では二十七、八日頃町會を召集九年度事業の繰越を附議する

水稻作改善 座談會

澤渡と川前で

縣主催の因作對策座談會は明十九日午前十時から石城郡澤渡小學校に於て開催本縣農試本場から丁技師外一名郡農側から青山技師その他出張の筈であるが同座談會は主として稻の作り方「水稻作の改善」に就てのもので引續く二十日は同じく午前十時から川前小學校に於て開催されると

常識講座

フリーガイドとは無料案内所のことだ、フリーは無料または自由放恣の意でガイドは案内者または指導者或は手引の意である、余り結構でないがフリーラブと云へば自由戀愛の事行李の中には各地神社の大小赤白旗やお札が一杯詰込んであり何を聞いても取り止めのない事を口走つて居り双渡二寸餘の切り出しも所持してゐるので危險と見て留置保護を加えてゐるが狂人を裝つてゐるのではないかと思はれる節もあり監視中

空俵に紙屑を詰め

放火未遂に終る

今曉湯本向田の出火事件

平署犯人の捜査開始

今十八日午前一時頃湯本町字向田魚商佐藤直吉方の軒下から突如發火しあはや大事に至らんとしたのを同町消防組の夜警隊が發見直に消し止めた届出により平署から係管出張調査したが現場の軒下に紙屑を詰め込んだ二俵の空俵が半焼になつて居り何者かの放火したものと判明直に手配犯人の捜査を開始したが恨みの放火と見られてゐる

突然店頭に

暴れ込んだ狂人

御難の丸新デパート吉田商店

お上さんと老母毆打さる

平驛前丸新デパート内袋物商吉田豊方の店頭に今十八日午前十時頃突然現はれた六十才前後一見乞食態背に柳行李を背負つた男が「俺の伴を出してくれたと…」矢庭に店内に飛び込み折柄手桶に一杯の水を汲んで來た同家の老母を突き倒し驚いて馳せよつたおかみさんを所持してゐた長さ四尺餘の昆棒で叩きつけ暴れ廻る狂態に驛前派出所から鈴木部長が駈付け取り押へ本署に引致取調たところ背から降した

納稅思想 宣傳標語

玉川村が

玉山村では村民の納稅思想涵吹を目的とし同村小學校生徒から納稅宣傳の標語を募集中であるが二十四日同村内一齋に擧行される火防宣傳の當日此の宣傳標語を各戸に配布することになつた

主家を飛び出した小僧

裏面に復雜な事情か

世話人が前借金横領？

當時平町正月町佐藤鐵工場徒弟安野博(一七)は去七日無斷で主家を飛出し行方を晦ましたので八方捜査した結果磐崎村小野田炭礦撰炭婦で實母の安野ジュンのもとに逃げ戻つてゐた事が判明したので度々歸宅するやう說諭したが博はどうしても主家に戻らないので今十八日主人から歸宅する樣說諭してくれと願ひ出た、博は年期奉公でもなく前借もないので主家に戻らないと頑張つてゐるが同家に世話した際仲に入つた某が巧みに兩者の間を誤魔化して二十一歳までの年期で前借を横領してゐたものらしく平署で關係者の取調中

中堅農講證書授與

男子部九十名女子部五名

石城郡農會に於ける事業の中殊に其の効果を認められてゐる中堅農民養成講習會第七回(九年度)の卒業は男子九十名女子五名で來る二十一日午前十時平町園休事務所樓上に修得證書授與式を擧げられるが今期講習會の成績は男子部四十七日間に於て三十日以上の出席八十八名、女子部三十五日間の講習に十五日以上出席せるもの五名に同證書の授與を決し尚ほ第一回講習生で止むを得ざる事情により中途退講せる平町の鈴木良平、第六回の同事情退講神谷村の志賀傳吉兩名にも證書授與する筈である卒業氏名左の如し

泉村推名德一郎 渡邊村鈴木政雄 江尻賴雄 小野政輝 根木覺 粒來宗一 植田町小宅勇 八代務 大平岩雄 八代繁德 布施武重 古川清司 山田村小野丈夫 鄉村小宅利一 同壽 勿來町長久保廣 下山田雅勇 上遠野村瀬谷武雄 下山田不二男 高崎定與 上遠野金治 入遠野折笠幸一 川部芳賀光與 田子茂男 飯野荒川金雄 須藤一雄 山崎景一 志賀茂男 鈴木辰一 夏井本田元治 木田文峯 馬上一司 大和田保夫 阿部義孝 鈴木政義 坂本時寛 大和田豊 高久志賀 藥谷茂 久野長治 右工門 片寄常雄 江名片寄金男 片寄五郎 鹿島鈴木眞 金成信 成草野道春 荒川清 高萩一良 玉川永山義雄 磐崎 瀧井九郎 中野左京 柳彌二郎 吉田重郎 小野善久湯本 矢吹庄一郎 小木野正吾 江尻二郎 内郷綱樹源三郎 野木安喜 赤井吉田好間 金成繁 松澤力左司馬 小松吉光 坂本幸一郎 鈴木涉鈴木光雄 谷鈴木彦太郎 西山威木村清司 草野村渡邊喜三郎渡邊實 同彦一 大浦早川泰通 鈴木忠一 和田文夫芳賀次郎兵衛 四倉須藤久四郎 緒方賢一郎 青木保男 大野吉田榮 大谷一義吉田四郎 久野要 平窪坂本正メ 高橋正惠 下小川大森貞義 遠藤豊 草野春一神谷志賀傳吉 平町鈴木良平▲女子部夏井國玉トラ子鈴木マツ子 草野猪狩リオ飯島トシ子 神谷木村ツル

石城産馬の

通常總會

新豫算四九八三圓

石城郡産馬組合では今十八日午前十時から平町同組合事務所に通常總會を開催十年度豫算及び同年度事業に關する種馬資金並に縣有種牡馬借受けとれに伴ふ運用金償還繰延べ及び昭和八年度決算を附議されたが新豫算は前年度より四百二十一圓を增加する總額四千九百八十三圓である

故山崎氏

地方空前の盛葬執行さる

前縣會議員故山崎吉平氏の葬儀は今十八日午後一時飯野村谷川瀬の自宅を出棺同村眞乘寺に於て告別式を執行された

自動車協會 役員の改選

自動車協會石城支部定時總會は十五日午前十時から平署會議室に於て開催、豫算、決算の審議後役員の改選をなしたが當選者次の如くである

△支部長横山平署長△副支部長野崎滿藏 小濱長太郎(小名濱)鈴木稻實(湯本)△幹事山崎才一郎(平)△評議鈴員木善太郎(平)外九名

三坂村の 山火事

原野四町歩を

昨十七日午後二時頃突如三坂村大字上三坂山神前林野から發火、忽ち同林野一帶に燃え擴がり原野四町歩を燒拂つて同四時鎭火した、損害は僅小の見込み、發火原因に就て平署で調査の結果同村居住炭燒業大友好彦(五一)が作業中焚火の不始末からと判明した

が氏生前の知誼前代議士木村清治、代議士佐藤庄太郎、鈴木辰三郎、貴族院議員金成通元代議士安島重三郎、縣會議員井上茂作、田子健吉、犬内一郎、前縣議古川傳一、小野晉平其他地方知名の士約八百余名參列政友會總代鈴木喜三郎氏以下中央政界巨頭連からの弔電贈花等多數に達し地方空前の盛葬で故人生前の德が偲ばれた

拾遺歌中題詞の『さはこのみゆ』は

現今の湯本(原名三箱)町に懸く

(飯坂溫泉元湯の鯖湖に强引、建碑せるは無稽、不當の極み)

〔11〕

鮫川刺史

一村の土地、都こ溫泉なり依て水貧しく、入口に釋迦の塔あり、此邊に井(湯本城址東麓、俗に柚木の井戸と云ふ)ありて鄉人之を用ふ、又雜用の水には入口の川の水を用ふ、入口の町を本町といひ、中嶋より西南の方を表町といひ、表町の裏通りを裏町といふ、又寺湯といふあり、本町と表町との間に一間許りの板橋あり、此橋より家數三四軒手前に、本町の方へ東側横道ありて、爰より少しく入れば、直に小舟に請け、小舟を大湯舟との間を取り置き除き、樋にして湯あつき時は、此の柿を取りて湯さしして入るなり、瀧あり古瀧新瀧といふ、平地より卷上げて湯舟に落すなり、効能は濕癬、癖疾に妙なり、一週間も入浴すれば全癒すること妙なり、濕若も若くして膿ついざる內、早く湯活すれば、內部へ入りて却つて害あり、(磐城童案內)

此れを讀むと如何にも當時の繁華、享樂の情緒が宛ら手に取るやうに浮び出されるでは ないか。

近世末に至り、平藩の老儒神林彌(復所と號す)は、當地に浴遊して、左の一詩を作した

御會葬御禮
福島縣石城郡飯野村
男 山崎一郎

今年春繭の相場豫想（七）

三十掛確實の樂觀說に見る

前述のやうな次第で浦算市場に於ける新糸限月である七月限、即ち先物相場が金約欵解決や需給の絶對樂觀を背景としながら六百六十圓台から反動を起したのも此間の消息を明らかに暗示するものだ、

然し昨年の如き無茶な安値の二十二、三掛相場などは絶對にないであらう、現在豫想されるところは大体三十掛乃至は三十二、三掛見當である

（横濱市場筋の見方）

次に熊谷方面に於ける當業關係幹部の語るところでは

今年はどうも去年に較べてずつと樂觀的樂觀的材料ばかりが多い、差當り生糸の好調も非常に力強い感をば與へてゐるが四圍の狀況から見て今春は繭價も昨年にくらべてずつと上向くのではあるまいか、今後著しい變動のない限りは製糸工賃百五十圓と見ても生繭一貫目の掛目は三十五、六掛見當になるので相場は結局一貫目三圓五、六十錢から上繭なら四圓前後で取引されるのではあるまいかと豫想される、

然しですたゞ此の際最も戒むべきことは桑園の作付反別が減退したこと、農村に於ける不況から施肥が充分でない爲めその收桑量が少なからうことである、之れ等に考慮なく前述の高値を豫想して無謀の掃立てをしないやうにすることである

（熊谷地方の見方）

春繭相場豫想終り

入院應需
明雲堂眼科醫院
平驛前　電六六九番
●自炊の便あり●

學習院型ランドセル
サイゴー印學生帽
女學生用手提カバン
●玉付ノ石板ガ樂ニ入リマス…
●九九錢ヨリ
●福助運動靴景品付賣出中
入學用品店内陳列
入學ト進級ノ準備ヲノ念入ニ吟味セル實用品揃イ
ヤルツ
平四●電一四〇

お醬油は……ヤマフル
醬油味噌
たひら正宗
鰹節食料品
鹽屋
山崎合名會社
電話營業部一一〇番
本店二七〇番
明治生命磐城代理店
山崎與三郎

移轉新築
新學期生募集
特點
無試驗入學
（修業年限兩科を通じ一ヶ年）
月謝貳圓
募集生。産婆、看護科を通じて八十名
願書受付は四月五日迄
平才槌小路
電話三五七
石城産科婦看護婦學校（校長　鷹崎千代）
新築校舍には、産科の實習に「産室」を設備致し寄宿生の爲めには完全な自炊便を備えてあります

入院應需
内科、小兒科
大森醫院
醫學士　大森勇
平町南町　電二五八番

牛も豚も優良品の自慢
肉の御用命は
三三屋
平町田町

新設、電話二二一番
何卒御利用の程を……
平町紺屋町一一
上原家政婦會
（産婆）上原通子

ガソリン
モビール油
日本石油株式會社
特約販賣
油問屋
關内油店
磐城平　電話長16
支郡山市驛前通店電話長三二八
支店茨城縣關本驛前電話長平潟七三
油槽出張所平町四丁目郵便局前

安價で効果的な
天然加里肥
最も適應する作物！
蔬菜　馬鈴薯　里芋　しやうが類
◇茄果類ではトマト茄子の如き比較的病害に弱い作物に施用すれば抵抗力を與へ落果を防ぎます
天然加里肥は酸性でないから
◇如何に施用しても土壤を惡變する虞は絶對にありません
一俵　參拾錢
（大量取引は特に割引致します）
製造販賣　金成國雅
平町鎌田　電話六八八番
〝貨物自動車〟の御用命に應じます

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平町田町（電話五八番）藤田女學校前
入院應需　鈴木醫院

雨露に晒す程
強く吹く煙突
煙突は
「朝日」
石綿セメント製
朝日煙突
絶對にはぢかない！
やけない！
くさらない！
衛生的で美しい
釜屋商店